時事新報の特派員出張

露國皇太子殿下の京坂間御漫遊に就ては本社は在大坂支社の木下立安氏をして殿下の一行に隨從し巨細の報道を發せしめ居たるも昨日殿下御遭難の報に接したれば更に本社より岩本述太郎氏を特派し昨夜九時五十分新橋發の汽車にて京都に向はしめたり昨日此の悲報の東京に達するや天皇陛下は今朝の一番汽車にて京都に行幸、仰出され諸大臣も昨夜より今朝に懸けて續々出發する次第ゆゑ京都は一時出來事の中心となるべく兩名の特派員ありて其報道に從事すれば時事新報の記事は讀者をして遺憾なからしむる事を得べし

官報

○宮内省告示第十號

明十二日午前六時十分御出門同時三十分新橋發別仕立汽車乘御露國皇太子殿下御訪問トシテ京都ヘ行幸可被爲在旨仰出サル

明治廿四年五月十一日　宮内大臣子爵土方久元

時事新報

露國皇太子殿下の御遭難

露國皇太子ニコラス親王殿下には昨十一日江州大津に於て狂人の爲めに危害に罹らせられたりと云ふ我輩は此飛報に接して之を信ずる所を知らざるあり抑も殿下は往く〳〵露國の帝位を嗣がせらるべき貴賓にして此回の御漫遊ふそ實に日露兩國間の和親を厚くすべき未曾有の慶事あれば是より先き御漫遊の報あるや我が天皇陛下には御滿悦斜ならず亘らせられ朝野ともに鹿鳴を謳ふて歡迎の日を待つに切なりしに明治廿四年四月廿七日海上恙なく我が長崎港に着せられたれば我が陸下には直ちに電報を以て祝賀を表せられ殿下にも亦報答あらせられて御謁見の日は近く旬日の内にあり其間文武官吏の厚禮及び沿道人民の歡迎は皇太子殿下にも殊の外親愛の情を催はさせられ山の秀、水の美なる殿下を慰め奉りて和氣藹然樂しからずと云ふべし而して全國四千餘萬の人民目に文字ある者は先を爭ひ新聞紙を讀まざるなく之れあるを聞かんと欲するを頗ふる切にして其意みあ露國皇太子殿下に係る報道を得て私に歡迎の情を慰せんと欲するに外ならず東京府下の如き殆んど狂奔熱走して某の事は以て殿下の尊案を伺んか、某の事は以て殿下の遊を勢らはんか白く何、々々指を屈して待つものみ〳〵に久しかりしに五月十一日は是れ何等の凶日ぞ飛報來りて殿下には負傷せられたりと傳ふ我輩始めてこれを聞き事の信ず可らざるを云ふや衆口恰も一なりしに不幸凶書遂いで繼ぎ復た疑を容る可らず抑も斯る狙撃に及びたるは何者あるや日露兩國の親誼を云はず將來の關係如何を云はず一國の大慶事たる貴賓の來遊に遇ひ我が天皇陛下を始め奉り朝野みな〳〵歡迎禮待を心となして唯だその及ばざらんことを恨る〳〵の時に當り恐多くも手を加へて殿下を傷くるに至りたりとは是れ決して常人の意意の及ぶ所にあらず在漢の狂、嗚あく非常の慶事をして非常の凶事たらしめ天下萬人をして無限の遺憾悲慨に陷るらしめたるは偏り我國に於てのみあらず經界古今未曾有の大變にして日本の國辱を云はず陛下の御慶を云はず誠に歴史の汚點たるを云はず露國並全國、日本全國に無雷の大不幸として我輩は且つ悲しみ且つ恥ぢ獨り自ら悚然たるを覺ゆるのみ

露國皇太子殿下の遠に御著京あらせられん事は我が天皇陛下の日夜に待たせ玉ふ所たりしに其甲斐もなく凶報を得させ玉ひければ深く寒襟を痛ませ玉ひ直ちに御見舞として彼地に行幸あらせ玉ふと云ふ我輩は唯感慮の露國皇太子殿下に徹し御負傷の恢かにても和らぐ所あらんことを窃に天に祈るのみ報道によるに殿下の御遭難は敢て甚だ重からずとの事あれば一日も早く快癒あらせられ我が陸下と御同道にて府下へ來らせられ度て定められたる如く萬民歡迎の間に各地を遊歴あらせられんみと千祈萬禱して已まざるなり

雜報

○露國皇太子殿下の御遭難

昨十一日江州大津町に於て帝室の貴賓、國民の貴賓たる露國皇太子ニコラス親王殿下に對し畏れ多き出來事の起りたり其兇報は次の諸項に掲ぐるが如し

○露國皇太子殿下の遭難　露國皇太子ニコラス殿下御漫遊の途次滋賀縣近江國大津町に於て昨十一日狂漢の爲めに御負傷在せられたる事は取敢へず號外を以て府下及び横濱の讀者に報道せしが今其詳報を記するに當り先づ其節に達したる電文を掲げん

露國皇太子殿下只今（十一日午後二時三十分）當地御出立の途中大津町に於て路傍警衛の巡査一名抜劍して皇太子殿下の御横顔に切掛け犯人は其僕縛に就きたり御傷は横三寸餘御精神は確かにて供奉の面々取敢へず繃帶し縣廳へ御歸り在せられ目下御療治中犯人の巡査は本縣守山警察署詰津田三藏と云ひ全く精神狂ひ此擧に及びたりと見れ入り居れり、一刀切掛け直ちに縛したり何とも畏れ入る

右は滋賀縣知事より各省に宛て昨十一日の午後二時三十分に發したる電文あり偖て此報に接するや其筋の人々の驚きは云ふ迄もなく各大臣孰れも内閣に出頭し各官衙ともに上を下への混雑を爲したる中にも宮内省の如きは一方あらざる有樣にて北白川宮殿下は御見舞として直に大津へ向け御發足遊ばされ西郷内務大臣も大浦警保局次長を伴ひ昨夕臨時汽車にて同地へ出發せり殊に我が天皇陛下には此兇報に接して痛く寒襟を惱ませられ早速御見舞の爲め行幸の事を仰せ出され今十二日午前六時半新橋停車場を御發輦在せらるゝよし尚ニコラス親王殿下其後の御容體は如何に渡せらるゝや詳細は知るに由なきも後報に據れば同殿下には縣廳に於て統所の手當を爲されたる上間もなく京都へ御引戻し相成りたりと云へば聊か安堵の思ひなきに非ざるも殿下に對し誠とに恐れ入りたる次第にして狂漢とは申しながら何が爲めに斯る無禮の振舞を働きたるか吾人は此報に接して驚愕悲歎の餘り言ふ所を知らず想ふに我が帝國四千萬の臣民中此兇漢一人を除くの外は何人と雖も必ず其感を同ふする事たるべし

○變事の通知　此度の兇報に就て書記官は左の如き通牒の擂物を其向へ配付したり狂漢は勤等もありと云へば西南の役に軍隊若しくは警官に屬して働きたるみとありし者あらん勤七等は通常の兵士にては受くべきにあらず曹長くらゐの實格はあるものなりと云へり

滋賀縣守山警察署詰巡査　勤七等　津田三藏

右は本日午後二時頃露國皇太子ニコラス殿下滋賀縣御立の途中大津町に於て路傍警衛中抜劍し殿下の御横顔へ斬り付けたり御傷は横三寸餘御精神慌かにて供奉員不取敢繃帶し縣廳へ御歸りあらせられ目下御療治中、本犯は御先導警部に一刀斬り付けられ直ちに縛したり全く精神狂ひ此擧に及びたりと恐入り居れりと

○大津よりの電報　昨日午後五時三十分滋賀縣大津發にて其筋へ達したる電報は左の如し

露國皇太子殿下縣廳にて御手當の上三時五十分當地發の汽車にて西京へ御歸りにおりたり停車場までの御途中は人力車にて御徐行御精神確かあり御傷は淺し

○京都よりの電報　又昨日午後五時四十分京都發にて其筋に達したる電報は左の如し

露國皇太子殿下滋賀縣廳より人力車にて馬場停車場へ御着三時五十分同所發京都へ御著御容貌は御變りあく御歩行あがら侍從の人に御話遊ばしつゝ馬車に召せられたり

○露國皇太子の容體　京都より昨日午後五時十五分發にて「御氣分變りなし御怪我の輕重は今より診察に取掛る處なりとの電報其筋に達したるよし

○露國皇太子殿下は輕傷あるべし　露國皇太子殿下が昨日大津町に於て突然兇行者の爲め負傷されたるも格別の事にはわらざるべし其は供奉員が直に繃帶を施し滋賀縣廳へ御伴あひ申せしも後便に據れば間もなく京都へ御越しありしを以ても察せらるゝ次第にて殿下が御不運中の御好運とやいはんか一日も早く御全癒の程みな願はしけれ

○宮中總出仕　露國皇太子殿下に對し兇漢危害を加へたる旨の電報宮中へ達したるは殆んど午後二時三十分頃にて此兇報あるや土方宮内大臣は直ちに御前に伺候し恐れ多くも右の次第を具さに上奏し奉りしに陛下は御氣色を替させられ驚かせ給ふ事一と方あらずして其後殿下の御容體は如何にやと深く大御心を痛ませられて直ちに侍從に命じ電話を以て北白川宮殿下を召されて陛下御名代として取敢へず御見舞の爲め現地へ出張の儀を御委任在らせられ續いて高木、池田の兩國手を急使を以て召され是亦出張の儀を御沙汰相成り其内宮中より右の兇變わりし次第を各親王殿下の許を始め諸大臣及び横濱の讀者に報道せしに何れも取急ぎ參内し先づ其節に達したる電文を掲げん

○露國皇太子殿下只今（十一日午後二時三十分）當地御出立の途中大津町に於て路傍警衛の巡査一名抜劍して皇太子殿下の御横顔に切掛け犯人は其僕縛に就きたり御傷は横三寸餘御精神確かにて供奉の面々取敢へず繃帶し縣廳へ御歸り在せられ目下御療治中